



予算への主張

平成18年度予算案は、賛成多数をもって原案可決されましたが、採決に先立ち、5名の議員が各会派を代表して同予算案に対する賛成討論、反対討論を行いました。その概要は次のとおりです。

海友クラブ 賛成

「自立・共生都市」を指し、「未来志向型行政」への転換を高く評価します。その実行にあたって、次の要望をします。

▽ここ数年大きな伸びを示している扶助費は、他の事業に直接影響を与えるため中長期見通しの実施結果等を、随時議会・市民への提示・報告を要望します。同時に新まちづくり基金における、後世への配分計画の作成を求めます。▽「健康・スポーツ・文化振興の年」事業プログラムにおい

平成１８年度 各会計別予算総括表（金額の単位は千円）					
会 計 名		平成18年度 当初予算額	平成17年度 当初予算額	比 較	対前年度 伸 率
特別会計	一 般 会 計	33,487,000	30,707,000	2,780,000	9.1 %
	国民健康保険事業	9,897,097	8,747,138	1,149,959	13.1 %
	下 水 道 事 業	3,485,970	3,180,806	305,164	9.6 %
	老人保健医療事業	4,491,977	4,614,251	▲122,274	▲2.6 %
	介 護 保 険 事 業	3,640,574	3,442,392	198,182	5.8 %
	小 計	21,515,618	19,984,587	1,531,031	7.7 %
合 計		55,002,618	50,691,587	4,311,031	8.5 %

市政クラブ 賛成

賛成の立場から評価と要望をします。

▽分かりやすい事業別予算書づくりを要望します。年々改定され今年度は説明資料が添付された予算書となりましたが、さらに分かりやすいものになることを望みます。▽対前年度9・1%増の積極型予算に対する取り組みについて、市民税の収納率向上が課題となります。また、歳出で大きな伸びをしめす普通建

共産党 反対

小学校1・2年生の35人学級、コミバスの新ルートをはじめ、評価できる点も多くありますが、次の理由により一般会計予算、国民健康保険、介護保険の2事業予算について反対します。

▽海老名駅自由通路整備（小田急相鉄駅舎部）事業は「東西のまちづくりの一体化の為」との説明ですが、

今日に至っても西側のまちづくりの見通しはありません。また、相鉄線が本厚木駅まで乗り入れる構想が厚木市より発表されました。仮に実現すれば巨額の税金の無駄遣いになりかねません。▽国民健康保険税の医療分の値上げにより、払いたくても払えない人の増加、滞納者への資格者証発行による病気の手当ての遅れなどが懸念されます。▽当初、家族負担の軽減をはかるために創設された介護保険制度は、6年経った今、措置制度時と比べて、介護の負担がより重くなっています。また、保険料は3年ごとに値上げされ、所得の低い人ほど大きな負担となっています。低所得者層に対し市で助成を行い、生活の安定を図るべきです。また、課税層の保険料段階の多数化を図るべきと考えます。

公明党 賛成

一般会計予算・4特別会計予算について賛成します。▽土地開発公社の債務解消、利用率の減る一方であった「えびな蓼科荘」の廃止

「新まちづくり基金」の創設など数々の改革が実行さ

詳しい内容は会議録で

3月定例会の会議録を作成中です。6月には市役所1階の情報公開コーナーや中央図書館で閲覧できますので、ご利用ください。市のホームページでも見る事ができます

請願・陳情の提出について

請願と陳情は、いつでも受け付けていますが、**5月24(水)の午後5時までに提出**されますと、6月定例会で審査または議員配布されます。(それ以降の提出は、原則として次回定例会の取り扱いとなります。) 詳しくは議会事務局まで、お問い合わせください。

れたことで、多くの事業に財源が投入できることになったと考えます。▽自由

道路整備、さがみ縦貫道路の整備など、経費がかかる都市基盤整備に重点を置いた予算となっています。▽少子高齢化対策についても社会福祉協議会へのファミリースポーツセンターの設置、(仮称)高齢者生きがい会館の整備など着実かつ有効な対策に着手することになっていきます。▽「健康・スポーツ・文化振興の年」にちなみ、女性の乳がん検診の拡充など、さまざまな対策が講じられます。▽障害者自立支援法は障害を持つ方にとっては厳しいものと思えますが、市独自の負担軽減対策や新規事業の創設などにより、できる限りのことはしていると考えます。▽さがみ縦貫道路開通後も、快適な生活環境を守り、この道路を本市の活力源とするため、土地利用計画の策定と企業誘致施策等の確立を要望します。

ネット 賛成

「自立・共生都市を創出する予算」と位置付けられた当初予算案について4つ

3月議会では次の意見書が全員賛成で可決しました。**神奈川県最低賃金の改定等についての意見書**

3月定例会 意見書を可決

ナショナルミニマムである地域別最低賃金の改善は重要な課題であり、労働者を支援する労働行政の重要施策です。

よって貴職におかれては、次の政策について特段の配慮をされるよう強く要望する。

1. 神奈川県最低賃金の改定諮問を早期に行い、「同一価値労働同一賃金」の観点にたち、一般労働者の賃金水準への接近を基本に、その改定をはかること。また、産業別最低賃金の改定については、基幹産業労働者の賃金水準への接近を基本に、その改定をはかること。

2. 最低賃金の改定にあたっては、地方最低賃金審議会の自主性を尊重するとともに、神奈川県内で最低賃金以下の労働者をなくすために、その趣旨及び内容の周知徹底をはかること。

3. ワークシェアリングを促進すること。

この意見書は、海老名市議会の意見として関係機関へ送付しました。

えびな市議会だよりの録音テープを「矢ぐるまの会」が作成しています。

ご希望の方は、市社会福祉協議会まで、お問い合わせを。

☎ (235) 0220